

院長



飯吉 厚夫

学校法人中部大学理事長、総長
 専門分野：プラズマ理工学、核融合科学

挨拶

総長特区の創発学術院は、中部大学の建学の精神「不言実行、あてになる人間」のもと、新たな学術の創発を目指して2016年4月に設置されました。創発学術院の特徴は構成する教員の研究分野の多様性です。物理学、数学、心理学、化学、医学、微生物学、文学、地球環境科学、霊長類学、経済学、生物学、工学などの異なる研究分野のインタラクションによる創発に関心のある研究者が、研究分野を超えて集まっているのが創発学術院の強みです。学術領域を超えた研究者の交流が生み出す可能性は無限であり、各分野内では限界が見える課題に対しても異なる分野の専門家が知恵を出し合っ

て解決に導くような部局になることを期待しています。また、私学と国立大学という異なる組織間での学生、研究者の自由な交流ができる基盤整備も創発学術院が力を入れていることです。私学と国立大学のお互いの強みを強化し、学問の自由な交流をとおして創発学術院の目指す「その先へのブレイクスルー」を実現していきます。

主な受賞等

瑞宝中綬章(2015)
 ロシア科学アカデミー 名誉博士(2018)

著作、訳書

核融合入門(増補版), 共立出版社(1976).
 ヒューマン・ハーモニー
 — 科学と社会の調和をもとめて(共著),
 三田出版会(1989).
 フュージョン — 宇宙のエネルギー,
 シュプリンガー・フェアラーク東京(2005).
 ビッグプロジェクト, 新潮新書(2008).

社会活動

京都大学名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、
 核融合科学研究所名誉教授、プラズマ・核融合学会名誉会員、
 文部科学省学術審議会委員 ほか多数

経 歴

1960年 慶應義塾大学工学部機械工学科卒業
 1965年 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士
 1965年 米国プリンストン大学プラズマ物理学研究所客員研究員
 1966年 英国原子力局カラム研究所研究員
 1969年 慶應義塾大学工学部助教授
 1974年 京都大学工学部教授
 1988年 京都大学ヘリオトロン核融合研究センター長
 1989年 文部省核融合科学研究所長
 1999年 中部大学長
 2005年 中部大学総長
 2011年 学校法人中部大学理事長